

# 感染症対策の専門家による学校訪問

～部活動時における感染防止対策に着目して～

第2弾 上尾南高校(令和3年6月16日・水)



## 【坂木先生の講評】

- 普段の清掃が行き届いている。物品も整理整頓されており、とても清潔な印象を受けた。
- 日常の衛生管理が、新型コロナウイルスの感染防止に繋がっている。ぜひ継続していただきたい。
- ノーリスクは無い。如何に感染を広げないようにするか、が大切。



←生徒の口元の空気が入れ替わるよう、低い位置の窓を開ける

同じ方向を向く  
活動途中の会話では、ハンカチを口元に当てて会話する



(感染管理専門家 坂木先生)

- 学校の立地条件を生かし、効率的な換気ができている。生徒の口元の空気が入れ替わるよう、低い位置の窓を対角線上に2か所開けると、なお良い。
- マスクを外して行う活動は、普段の練習時から、以下のことを意識する。

「同じ方向を向く」、「身体的距離を開ける」、「窓を開けて換気する」、「顔をむやみに触らない(接触感染防止)」

- 発表会、コンクール前や本番は、マスクを外すことになる。部活以外の日常生活の中で「いかに感染しないようにするか」部員や顧問が共通認識をもって、メリハリをつけて対応することが大切。

例) コンクール2週間前は、「いつも一緒にいる人以外とは食事を摂らない」、「休日もフードコートなどに行かない」等、みんなでこの期間を頑張る!